

わたしたちの「街」の未来を考えよう！ 地域の街づくりに関する区民アンケート調査（Web調査） 集計結果

1. 調査概要

調査期間：令和5年11月15日（水）～令和5年12月15日（金）

調査対象：区内在住者・区内在勤者・区内在学者

調査方法：東京共同電子システムサービス上のアンケートフォームから回答

周知方法：区（おしらせ、ホームページ、メールマガジン、SNS（X（旧Twitter）、Facebook）、広報板）、チラシ掲示（各総合支所、二子玉川分庁舎、まちづくりセンター、オープンハウス・意見交換会場など）

調査票：世田谷地域29問、北沢地域32問、玉川地域25問、砧地域24問、烏山地域28問
各地域、日本語版と英語版の2種類を作成し、回答を受付

目的：「地域整備方針」の見直しにあたり、各地域のまちの姿の満足度や今後の街づくりについて調査対象者のお考えやご意見を伺い、今後の10年間の各地域の街づくりの方針や取組み等を検討するうえで参考にすることを目的にします。

2. 集計結果

	世田谷 地域	北沢 地域	玉川 地域	砧 地域	烏山 地域	5地域 計
回収数	15	14	20	13	10	72

3. 回答処理について

- ・ 集計結果の割合は、小数点第2位を四捨五入して第1位までの表記としているため、合計が100%に満たない場合や、100%を超える場合があります。
- ・ 複数回答の質問の集計結果の割合は、回答者数に占める割合を示しているため、合計が100%を超える場合があります。

4. 集計結果

(4) 砧地域

1 あなた自身のことについて (回答者の属性)

問 1

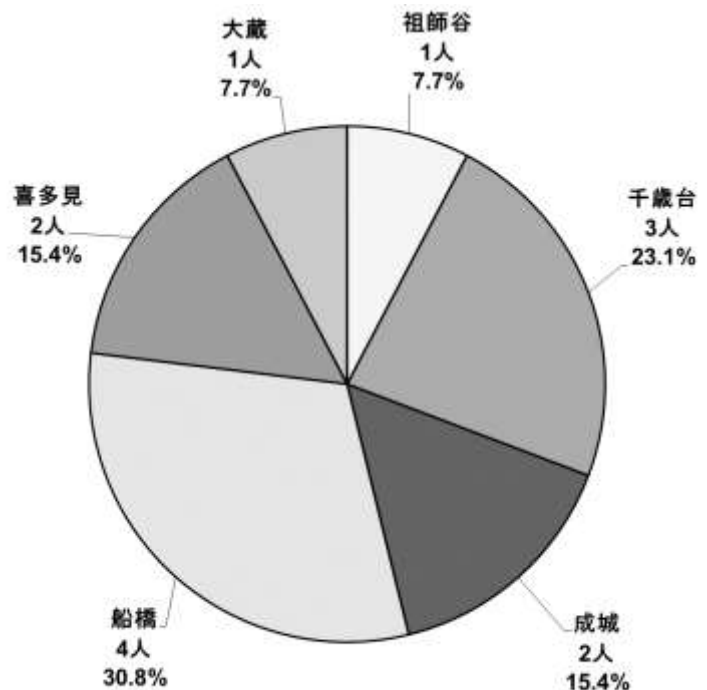
お住まいを丁目まで記載してください。

<回答>

・「船橋」が4人(30.8%)のほか、「祖師谷」「千歳台」「成城」「喜多見」「大蔵」にお住まいの方から、回答をいただきました。

●町別の集計

町	回答数	割合
祖師谷	1人	7.7%
千歳台	3人	23.1%
成城	2人	15.4%
船橋	4人	30.8%
喜多見	2人	15.4%
鎌田	—	—
宇奈根	—	—
岡本	—	—
砧	—	—
大蔵	1人	7.7%
砧公園	—	—



●町丁目別の集計

町	丁目	回答数	割合
祖師谷	1丁目	—	—
	2丁目	—	—
	3丁目	1人	7.7%
	4丁目	—	—
	5丁目	—	—
	6丁目	—	—
千歳台	1丁目	2人	15.4%
	2丁目	—	—
	3丁目	—	—
	4丁目	1人	7.7%
	5丁目	—	—
	6丁目	—	—
成城	1丁目	—	—
	2丁目	—	—
	3丁目	—	—
	4丁目	—	—
	5丁目	—	—
	6丁目	1人	7.7%
	7丁目	—	—
	8丁目	1人	7.7%
	9丁目	—	—
船橋	1丁目	2人	15.4%
	2丁目	—	—
	3丁目	—	—
	4丁目	—	—
	5丁目	1人	7.7%
	6丁目	1人	7.7%
	7丁目	—	—
喜多見	1丁目	—	—
	2丁目	—	—
	3丁目	—	—
	4丁目	1人	7.7%
	5丁目	—	—
	6丁目	—	—
	7丁目	—	—
	8丁目	—	—
	9丁目	1人	7.7%

町	丁目	回答数	割合
鎌田	1丁目	—	—
	2丁目	—	—
	3丁目	—	—
	4丁目	—	—
宇奈根	1丁目	—	—
	2丁目	—	—
	3丁目	—	—
岡本	1丁目	—	—
	2丁目	—	—
	3丁目	—	—
砧	1丁目	—	—
	2丁目	—	—
	3丁目	—	—
	4丁目	—	—
	5丁目	—	—
	6丁目	—	—
	7丁目	—	—
	8丁目	—	—
大蔵	1丁目	—	—
	2丁目	—	—
	3丁目	—	—
	4丁目	—	—
	5丁目	1人	7.7%
	6丁目	—	—
砧公園		—	—

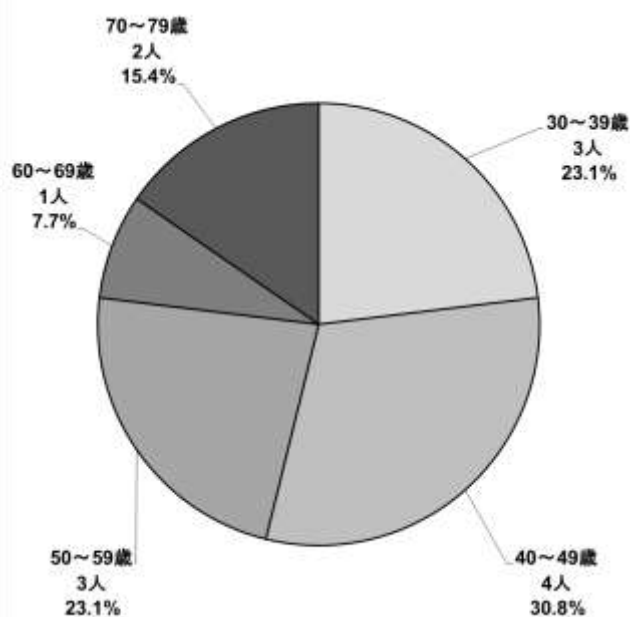
問2

年齢に○をつけてください。

<回答>

- ・「40歳代」が4人（30.8%）で最も多く、次いで「30歳代」と「60歳代」がそれぞれ3人（23.1%）などの順となっています。

選択肢	回答数	割合
1 16～19歳	—	—
2 20～29歳	—	—
3 30～39歳	3人	23.1%
4 40～49歳	4人	30.8%
5 50～59歳	3人	23.1%
6 60～69歳	1人	7.7%
7 70～79歳	2人	15.4%
8 80歳～	—	—

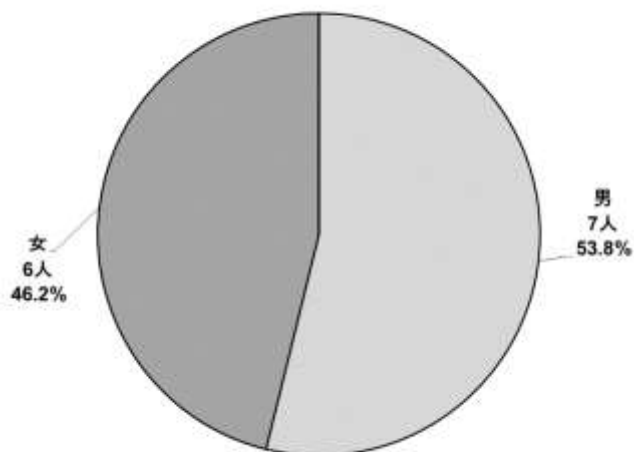
**問3**

性別に○をつけてください。

<回答>

- ・「男」が7人（53.8%）、「女」が6人（46.2%）となっています。

選択肢	回答数	割合
1 男	7人	53.8%
2 女	6人	46.2%
3 その他	—	—



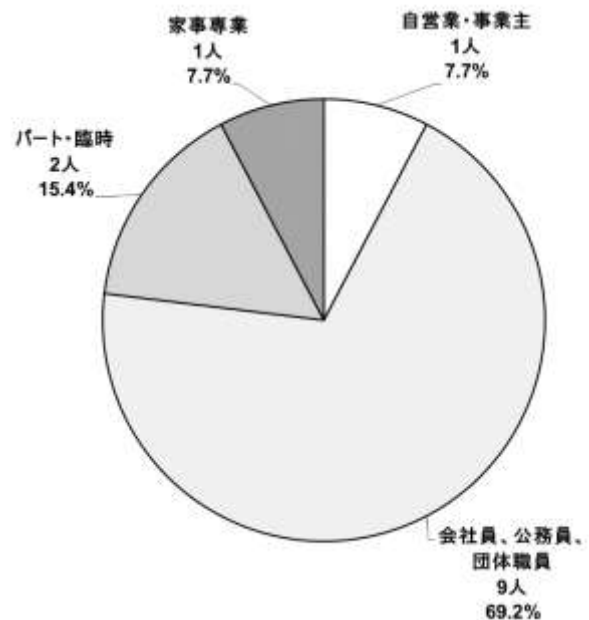
問4

職業に○をつけてください。

<回答>

- ・「会社員、公務員、団体職員」が最も多く9人（69.2%）であり、次いで「パート・無職」が2人（15.4%）、「自営業・事業主」と「家事専業」がそれぞれ1人（7.7%）となっています。

選択肢	回答数	割合
1 自営業・事業主	1人	7.7%
2 会社員、 公務員、団体職員	9人	69.2%
3 パート・臨時 (非常勤、嘱託、派遣等を含む)	2人	15.4%
4 その他就業者 (家族従業者、農業従業者等)	—	—
5 家事専業	1人	7.7%
6 学生	—	—
7 無職	—	—
8 その他	—	—



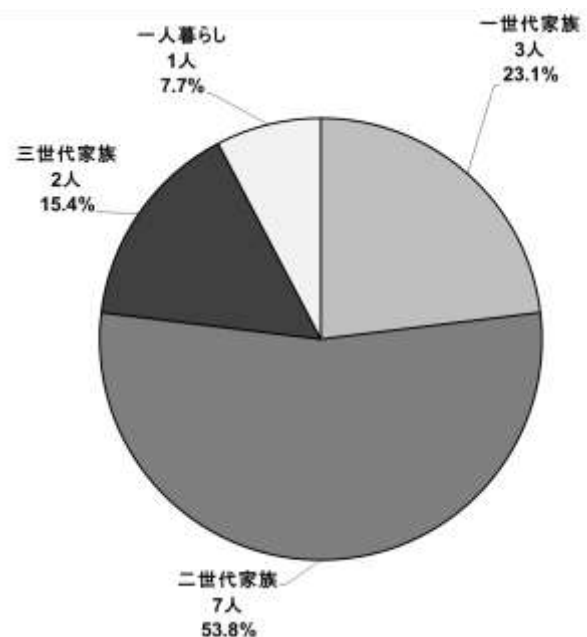
問5

同居する家族構成に○をつけてください。

<回答>

- ・「二世世代家族」が最も多く7人（53.8%）、次いで「一世代家族」が3人（23.1%）、「三世世代家族」が2人（15.4%）などの順となっています。

選択肢	回答数	割合
1 一世代家族 (例：あなたと 夫・妻・ パートナー)	3人	23.1%
2 二世世代家族 (例：あなたと 子ども・父母)	7人	53.8%
3 三世世代家族 (例：あなたと 子どもと孫・ 子どもと父母・ 祖父母と父母)	2人	15.4%
4 一人暮らし	1人	7.7%
5 その他	—	—



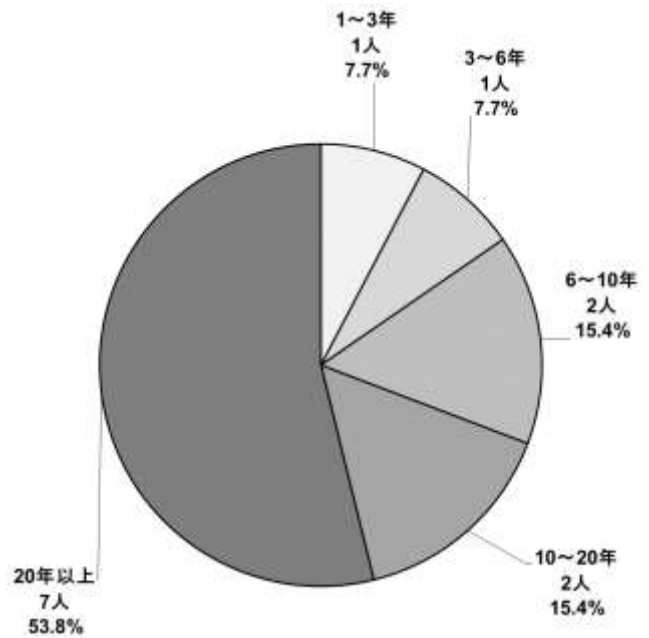
問6

世田谷区での居住年数に○をつけてください。

<回答>

- ・「20年以上」が7人（53.8%）、「6年以上10年未満」と「10年以上20年未満」が2人（15.4%）などの順となっています。

町	回答数	割合
1 1年未満	—	—
2 1年以上3年未満	1人	7.7%
3 3年以上6年未満	1人	7.7%
4 6年以上10年未満	2人	15.4%
5 10年以上20年未満	2人	15.4%
6 20年以上	7人	53.8%



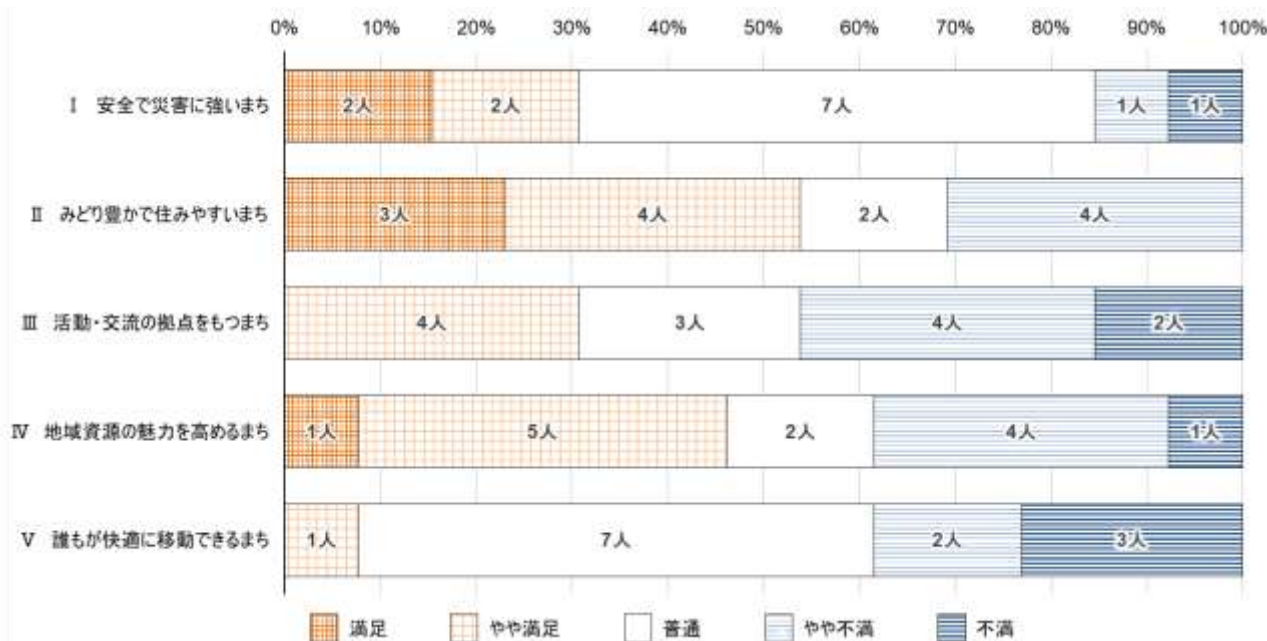
問7 (1)

平成27年4月に策定した「世田谷区都市整備方針（地域整備方針）」の中で、概ね20年後を見据えた砧地域のまちの姿を、下表のⅠ～Ⅴの〈テーマ〉に沿って設定しました。お住まいのまちについて、Ⅰ～Ⅴのまちの姿に対する現在の満足度をお聞かせください。1（満足）から5（不満）のいずれかに○をつけてください。

〈回答〉

- ・テーマⅡの「みどり豊かで住みやすいまち」の満足度が非常に高く、「満足」と「やや満足」を合わせると7人（53.8%）で、満足度が比較的高くなっています。
- ・テーマⅢの「活動・交流の拠点をもつまち」については、「やや不満」と「不満」を合わせると6人（46.2%）で、「満足」と「やや満足」を合わせた4人（30.8%）よりも多くなっています。

まちの姿	満足	やや満足	普通	やや不満	不満
〈Ⅰ 安全で災害に強いまち〉 地震や火災、水害など災害に強い市街地が整備された、安全・安心のまち	2人 15.4%	2人 15.4%	7人 53.8%	1人 7.7%	1人 7.7%
〈Ⅱ みどり豊かで住みやすいまち〉 多摩川緑地、砧公園、国分寺崖線などがもつ、恵まれた自然・生態系を大切にするまち	3人 23.1%	4人 30.8%	2人 15.4%	4人 30.8%	—
〈Ⅲ 活動・交流の拠点をもつまち〉 にぎわいと元気あふれるコミュニティの形成された生活拠点と、誰もが利用できる身近なみどりの拠点のあるまち	—	4人 30.8%	3人 23.1%	4人 30.8%	2人 15.4%
〈Ⅳ 地域資源の魅力を高めるまち〉 みどりとみずと農の豊かな原風景と、ゆとりある街なみを後世に残すまち	1人 7.7%	5人 38.5%	2人 15.4%	4人 30.8%	1人 7.7%
〈Ⅴ 誰もが快適に移動できるまち〉 南北方向等の道路が整備され、歩行者や自転車利用者にとって安全で快適に移動できる交通ネットワークが充実したまち	—	1人 7.7%	7人 53.8%	2人 15.4%	3人 23.1%



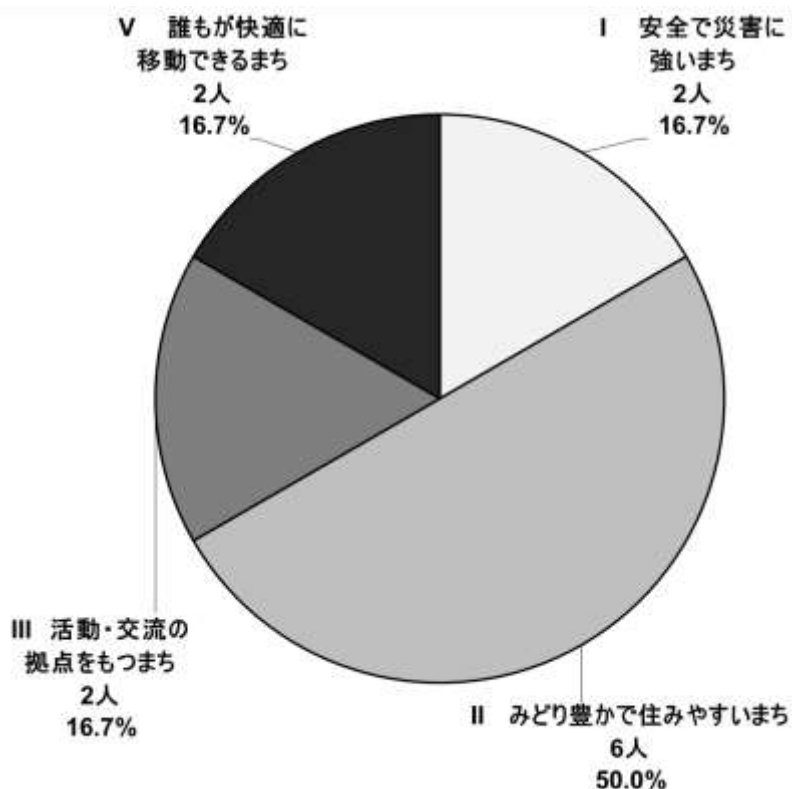
問7 (2)

I～Vの中で、あなたが特に重要だと思うもの1つに○をつけてください。

<回答>

・「みどり豊かで住みやすいまち」が最も多く6人(50.0%)、「安全で災害に強いまち」「活動・交流の拠点をもつまち」「誰もが快適に移動できるまち」がそれぞれ2人(16.7%)となっています。

まちの姿	回答数	割合
〈I 安全で災害に強いまち〉 地震や火災、水害など災害に強い市街地が整備された、安全・安心のまち	2人	16.7%
〈II みどり豊かで住みやすいまち〉 多摩川緑地、砧公園、国分寺崖線などがもつ、恵まれた自然・生態系を大切にするまち	6人	50.0%
〈III 活動・交流の拠点をもつまち〉 にぎわいと元気あふれるコミュニティの形成された生活拠点と、誰もが利用できる身近なみどりの拠点のあるまち	2人	16.7%
〈IV 地域資源の魅力を高めるまち〉 みどりのみずと農の豊かな原風景と、ゆとりある街なみを後世に残すまち	—	—
〈V 誰もが快適に移動できるまち〉 南北方向等の道路が整備され、歩行者や自転車利用者にとって安全で快適に移動できる交通ネットワークが充実したまち	2人	16.7%



I 安全で災害に強いまちについて

問8

お住まいのまちで、「安全で地震や火災に強いまち」を目指して積極的に取り組むべきと思うことについて、あてはまるもの2つに○をつけてください。

<回答>

- ・「災害時の避難路となる身近な道路を整備・拡幅する(狭あい道路の解消)」と「無電柱化を進める」がそれぞれ延べ5人(38.5%)で最も多くなっています。

選択肢	回答数	割合
1 火災が広がらないよう、広い道路を整備する	1人	7.7%
2 災害時の避難路となる身近な道路を整備・拡幅する(狭あい道路の解消)	5人	38.5%
3 無電柱化を進める	5人	38.5%
4 火災に強い燃えにくい建物を増やす	2人	15.4%
5 地震に強い壊れにくい建物を増やす	—	—
6 がけ、擁壁やブロック塀の安全対策を進める	1人	7.7%
7 災害時に防災拠点となるオープンスペースの確保や施設の機能を強化する	2人	15.4%
8 公園等の整備により一時集合所を確保する	3人	23.1%
9 消火栓やスタンドパイプ等の消防水利を確保する	1人	7.7%
10 災害時にも発電できる自然エネルギー(太陽光、風力など)の利用を促進する	3人	23.1%
11 その他	2人	15.4%



★「その他」の内容

大規模震災が発生後から公助が期待できない間、喜多見駅周辺を生活拠点とするとても多くの生活者を一次・二次災害から守り、自助・共助をしっかりと行うため、少なくとも喜多見地区会館が避難所機能を持ち、必要な情報発信等を適切に行えるよう改修もしくは建て替えを要望します。

自然災害については、必然で起こると思うし、崖線に関しては、樹々によって、災害を防いできたのではないかと思う。開発し続けてきたことによって、災害を引き起こしている例はたくさんあり、自然の声を聴き、セメントで固めたりすることや、道路の拡幅など、「防災」と銘打ったことが実際には長いスパンで災害を引き起こすことになるのではないかということについて、考えるべきだと思う。

そして、災害は起こるので、その時には助け合える人間関係を近隣で構築することを第一に考えるべきだと思う。

問9

お住まいのまちで、「安全で水害に強いまち」を目指して積極的に取り組むべきと思うことについて、あてはまるもの2つに○をつけてください。

<回答>

- ・雨水が浸透する緑地やグリーンインフラ（雨庭など）を増やす」が延べ11人（84.6%）で最も多くなっています。

選択肢	回答数	割合
1 河川や下水道を整備する	1人	7.7%
2 雨水が短時間に河川や下水道に流れ込まないように、一時的に雨水を貯める貯留槽などを整備する	2人	15.4%
3 雨水が浸透する緑地やグリーンインフラ（雨庭など）を増やす	11人	84.6%
4 浸水が想定される場所で、止水板の設置など水害に強い建築物を誘導する	1人	7.7%
5 土のうステーションや雨水タンクを充実する	2人	15.4%
6 大規模盛土に関する規制等、がけや擁壁の安全性を高める	1人	7.7%
7 水害時に防災拠点となる施設の機能を強化する	3人	23.1%
8 水害時避難所の充実を図る	3人	23.1%
9 その他	2人	15.4%



★「その他」の内容

なるべく自然や緑を生かす形が良い。

道路予定地について、アスファルトで覆うことをやめ、草地を残す。必要のないアスファルト舗装をはがし、自然の水の浸水を促し、水脈を詰まらせない整備をする。

Ⅱ みどり豊かで住みやすいまちについて

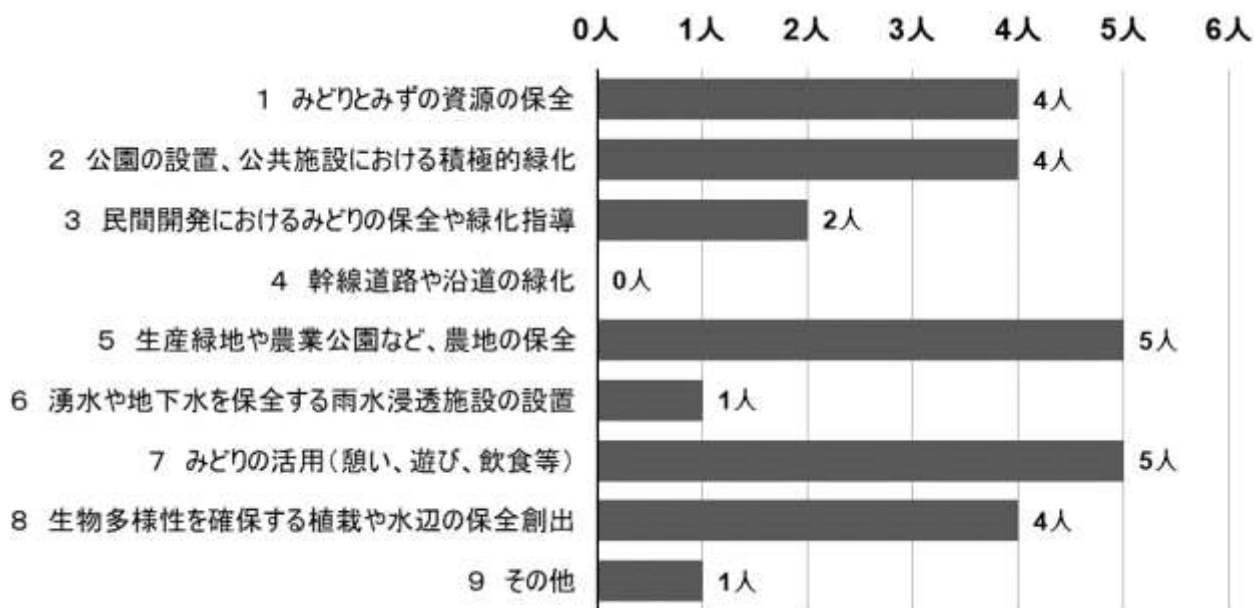
問10

お住まいのまちで、「みどり豊かなまち」を目指して積極的に取り組むべきと思うことについて、あてはまるもの2つに○をつけてください。

<回答>

- ・「生産緑地地区の追加指定や農業公園の整備など、農地の保全を行う」と「公園などのみどりの活用（憩い、遊び、飲食等）を促進する」が最も多く、それぞれ延べ5人（38.5%）となっています。

選択肢	回答数	割合
1 国分寺崖線や河川、公園や緑地などのみどりとみずの資源を保全する	4人	30.8%
2 公園の設置や公共施設における緑化に積極的に取り組む	4人	30.8%
3 民間開発や住宅などの建築におけるみどりの保全や緑化に関する指導を推進する	2人	15.4%
4 幹線道路や沿道の緑化を進める	—	—
5 生産緑地地区の追加指定や農業公園の整備など、農地の保全を行う	5人	38.5%
6 湧水や地下水の保全のため、雨水浸透施設の設置を進める	1人	7.7%
7 公園などのみどりの活用（憩い、遊び、飲食等）を促進する	5人	38.5%
8 生き物の多様性を確保する植栽や水辺の保全・創出を行う	4人	30.8%
9 その他	1人	7.7%



★「その他」の内容

住宅の緑化について、今は新築時の規制しかありません。建築後も緑が保全される政策をお願いします。また樹木の管理には手間と費用がかかります。個別の助成も必要であり有効だと思います。

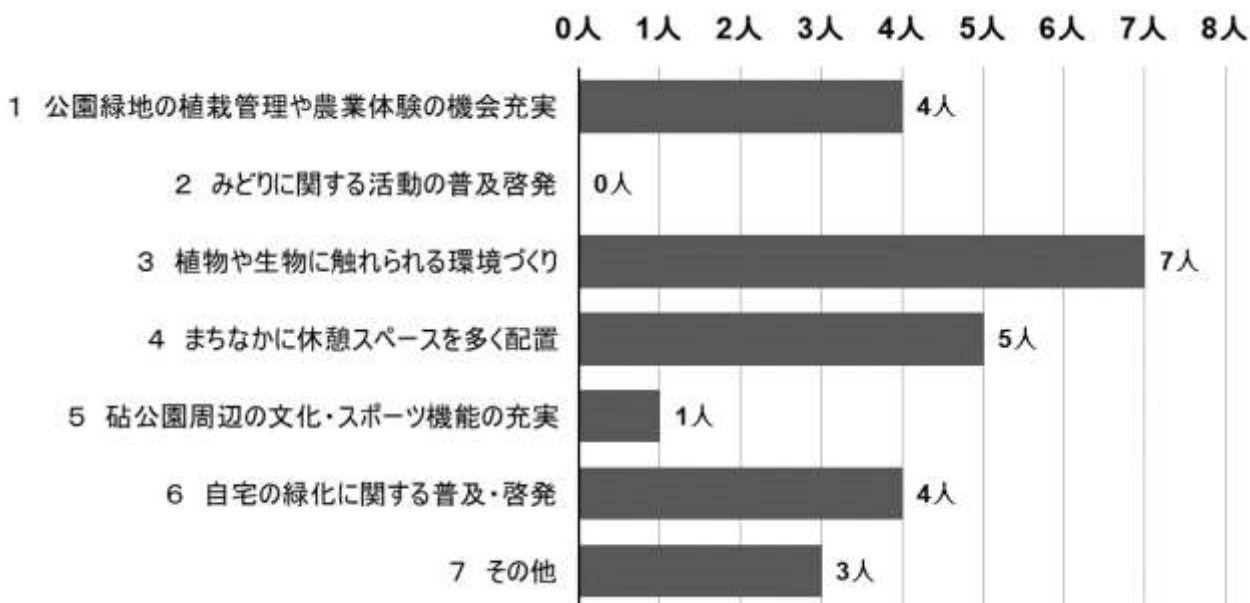
問 1 1

お住まいのまちで、「みどりに関わる活動や暮らしを楽しむ」ために、積極的に取り組むべきと思うことについて、あてはまるもの2つに○をつけてください。

<回答>

- ・「みどりが多く、植物や生き物に触れることのできる環境をつくる」が延べ7人（58.3%）、「木陰やベンチなど、まちなかに休憩できるスペースを多く配置する」が延べ5人（41.7%）などの順となっています。

選択肢	回答数	割合
1 地域住民が公園・緑地の植栽管理や農業を体験する機会の充実	4人	33.3%
2 みどりに関する活動の情報誌等の発行やホームページ等による普及啓発	—	—
3 みどりが多く、植物や生き物に触れることのできる環境をつくる	7人	58.3%
4 木陰やベンチなど、まちなかに休憩できるスペースを多く配置する	5人	41.7%
5 砧公園周辺の文化やスポーツなどの機能の施設を充実し、魅力を高める	1人	8.3%
6 みどりの管理方法など、自宅の緑化に関する普及・啓発を進める	4人	33.3%
7 その他	3人	25.0%



★「その他」の内容

すべての項目について取り組むべき。でないと、みどり33への努力をしたことにならない。これまでの取り組みは、形式的なものであったことを物語る結果に終わってしまう。大事なことは、どこでもどんな形態でも少しでもみどり＝土の地面を増やすことであり、広報と体験機会等を充実させて参加を拡げることではないかと思います。

自然観察会、体験会などを実施し、実際の自然のあり方を「知る」機会を増やす。

私有地の沿道緑化を推進し、歩いてみどりを楽しめるまちにする。

Ⅲ 活動・交流の拠点をもつまちについて

問12(1)

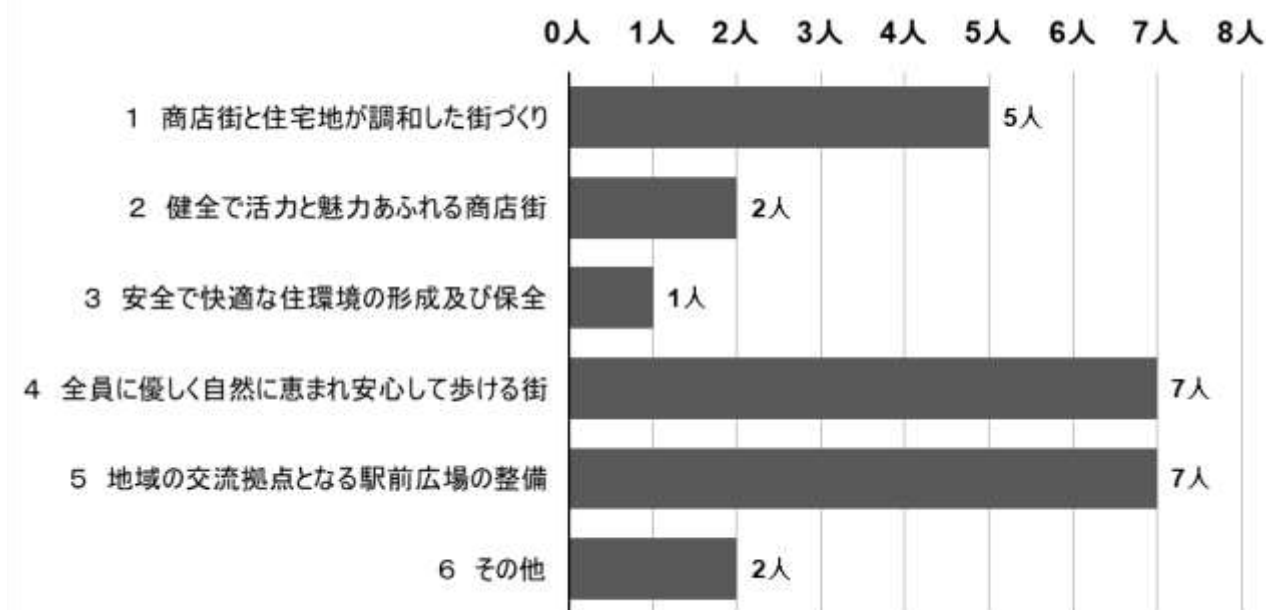
主要な地域生活拠点である成城学園前駅周辺についてお聞きします。

積極的に取り組むべきと思うことについて、あてはまるもの2つに○をつけてください。

<回答>

・「すべての者に優しく豊かな自然に恵まれ安心して歩ける健康的な街の形成」と「地域の交流の拠点となるにぎわいある駅前広場の整備」が最も多く、それぞれ延べ7人（53.8%）となっています。

選択肢	回答数	割合
1 駅周辺の商店街と住宅地の双方が調和し、景観に配慮した街づくり	5人	38.5%
2 健全で、活力と魅力あふれる商店街の形成	2人	15.4%
3 安全で快適な住環境の形成及び保全	1人	7.7%
4 すべての者に優しく豊かな自然に恵まれ安心して歩ける健康的な街の形成	7人	53.8%
5 地域の交流の拠点となるにぎわいある駅前広場の整備	7人	53.8%
6 その他	2人	15.4%



★「その他」の内容

住民参画の機会の創出と情報の提供、協働する気持ちのある住民の発掘と後押しする制度があると良いと思います。既存のコミュニティを考えるだけでなく、いち住民、肩書のない幅広い年代の当事者が関わることで、活力・交流が生まれると考えます。

駅周辺への自動車の乗り入れを規制する。

問12(2)

地域生活拠点である祖師ヶ谷大蔵駅周辺、地区生活拠点である千歳船橋駅周辺と喜多見駅周辺についてお聞きします。

よく利用する砧地域内の駅の番号(1か所)をA欄の中から選び、1つに○をつけてください。

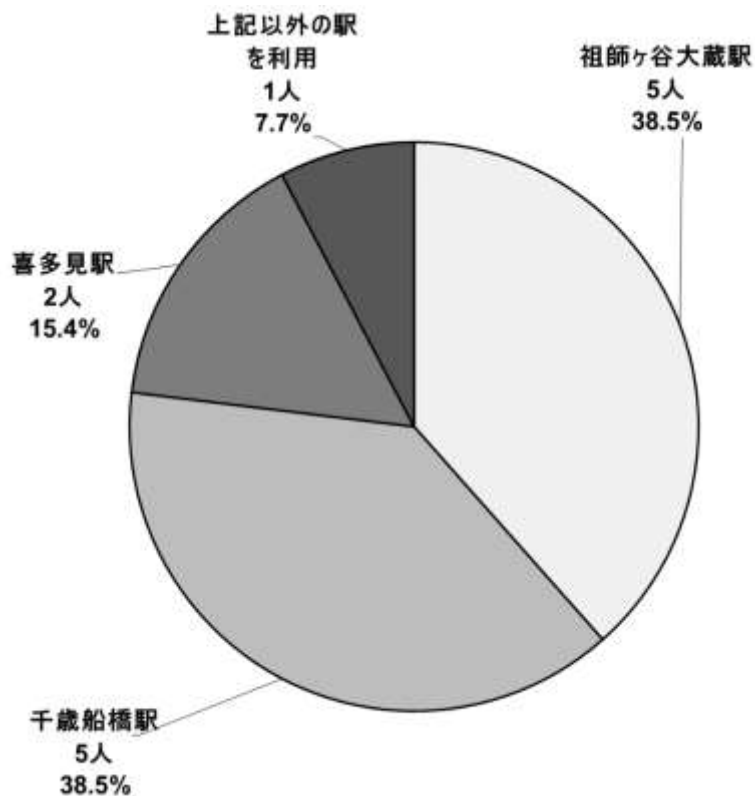
1～3の駅を選択した方は、その駅周辺で積極的に取り組むべきと思うことについて、あてはまるものをB欄の中から選び、2つに○をつけてください。

<回答>

- よく利用する駅として「祖師ヶ谷大蔵駅」と「千歳船橋駅」がそれぞれ5人(38.5%)と最も多く、次いで「喜多見」が2人(15.4%)、「上記以外の駅を利用」が1人(7.7%)となっています。
- 積極的に取り組むべきことについては、「まちなぎわいに満ちた、地域の交流の場となる商店街の形成」が最も多く、延べ5人(41.7%)となっています。

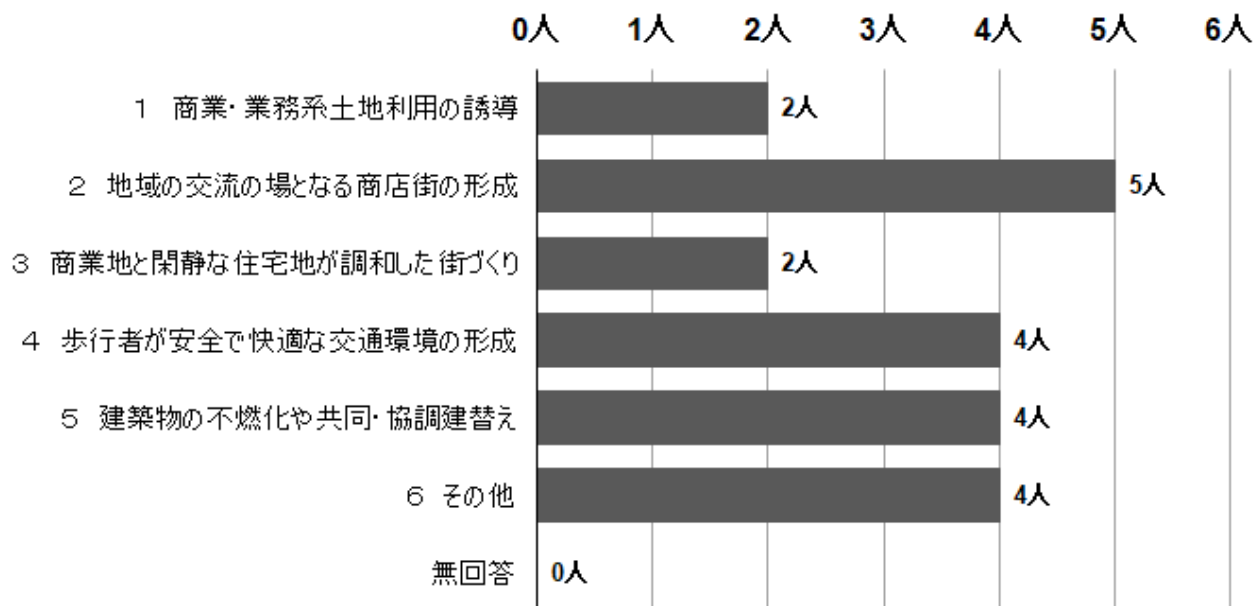
よく利用する駅(A欄)

選択肢(A欄)	回答数	割合
1 祖師ヶ谷大蔵駅	5人	38.5%
2 千歳船橋駅	5人	38.5%
3 喜多見駅	2人	15.4%
4 上記以外の駅を利用	1人	7.7%
5 駅は利用していない	—	—



積極的に取り組むべきと思うこと（B欄）

選択肢（B欄）	回答数	割合
1 日常生活における商業・業務等の機能が集積した土地利用の誘導	2人	16.7%
2 まちのにぎわいに満ちた、地域の交流の場となる商店街の形成	5人	41.7%
3 商業地と閑静な住宅地が調和した街づくり	2人	16.7%
4 自転車の駐輪その他の道路占有物がなく、歩行者にとって安全で快適な交通環境の形成	4人	33.3%
5 防災性の向上のため、建築物の不燃化や共同・協調建替えを推進する	4人	33.3%
6 その他	4人	33.3%



★「その他」の内容

地域コミュニティに資する駅前ひろばの活用促進（マルシェ、遊び場）。
住民参画の機会の創出と情報の提供、協働する気持ちのある住民の発掘と後押しする制度があると良いと思います。既存のコミュニティを考えるだけでなく、いち住民、肩書のない幅広い年代の当事者が関わることで、活力・交流が生まれると考えます。
千歳船橋駅周辺は広場も活用され、花壇等も良く維持されているのですが、道路等の環境（自転車・歩行者を含む）や商店街は旧態依然として変っていない。予算がないからと聞くが、地区街づくり計画で拡幅できる状況があっても放置。4m→6m拡幅は歩行者等の危険性を増す。工夫が必要。歩行空間としてはゆとり感をもつために拡幅は歓迎だが、車両交通が円滑になって通行車両を増加させ、通行速度も徐行ではなくなるため危険が倍加する。そのため、住民を含む運転者通行人のマナー向上や規制等の整備が不可欠であり、その世論醸成のための広報や参画機会等が大事と考える。
喜多見の歴史を感じられるような街づくり（街路灯、店構え、色彩など）、道路拡幅のためにセットバックした場所を活用しパラソルと椅子を置くなどして賑わいをつくる。

IV 地域資源の魅力を高めるまちについて

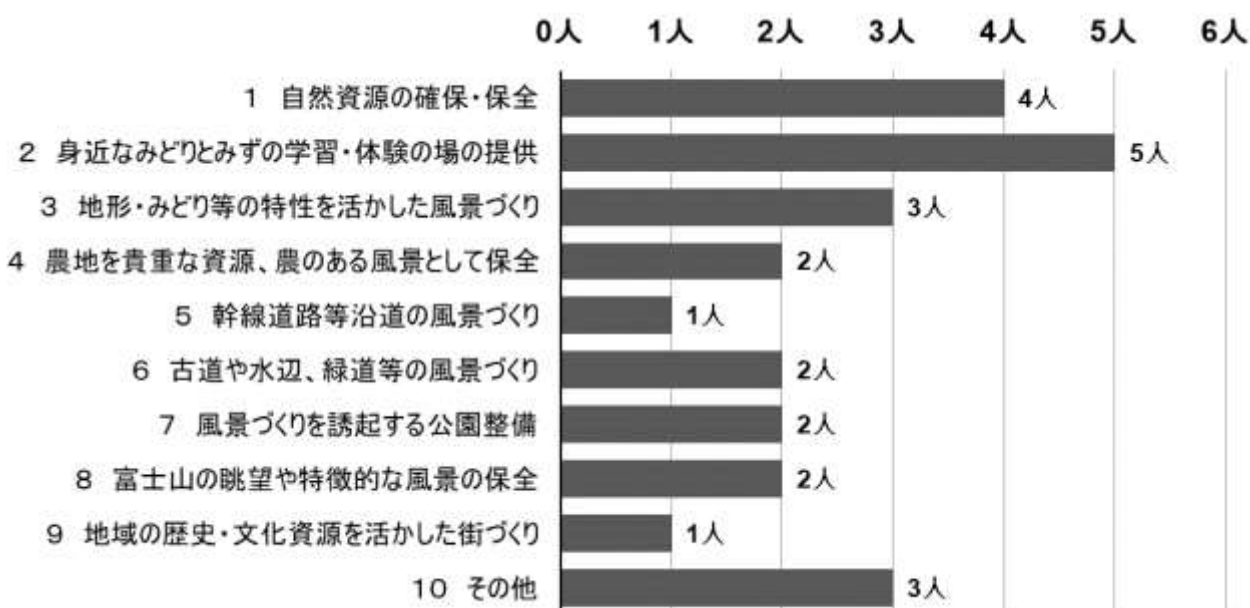
問 1 3

お住まいのまちで、「地域資源の魅力を高めるまち」を目指して、積極的に取り組むべきと思うことについて、あてはまるもの2つに○をつけてください。

<回答>

・「身近なみどりとみずの魅力に触れる学習・体験の場を提供する」が延べ5人（38.5%）、「自然資源の確保・保全を進める」が延べ4人（30.8%）、「地形やみどり、水辺、歴史資源などの特性を活かした風景づくりを進める」と「その他」がそれぞれ延べ3人（23.1%）などの順となっています。

選択肢	回答数	割合
1 自然資源の確保・保全を進める	4人	30.8%
2 身近なみどりとみずの魅力に触れる学習・体験の場を提供する	5人	38.5%
3 地形やみどり、水辺、歴史資源などの特性を活かした風景づくりを進める	3人	23.1%
4 農地を都市の貴重な資源と捉え、農のある風景として保全に努める	2人	15.4%
5 まちの骨格となる幹線道路等において、沿道緑化や街並みの統一などの風景づくりを進める	1人	7.7%
6 古道（登戸道、筏道、瀧坂道）や水辺、緑道等は、舗装材を工夫するなどの風景づくりを進める	2人	15.4%
7 次大夫堀公園や岡本静嘉堂緑地などは、その周辺地域の風景づくりを誘起する公園整備を進める	2人	15.4%
8 富士山を眺望できる景観重要公共施設と世田谷区を特徴づける風景を感じられる場所は、地域住民との連携により保全や整備に取り組む	2人	15.4%
9 民家園や学園のまち成城（旧山田家住宅など）、映画撮影所、美術館など地域の歴史・文化資源を活かした魅力ある街づくりを進める	1人	7.7%
10 その他	3人	23.1%



★「その他」の内容

街づくりや歴史について学べる街歩きガイドの育成、ツアーの開催など。
地域資源を子どもたちに開放する取り組みの充実。
「地域資源」は現存する街・みどりそのものだと考えるべきで、今を残すことが出発点。みどりを少しでも増やすため、生垣や2m以上の樹木を増やすことが大事。そのための助成制度を種々揃えるべきだと思います。また、一坪でももっと小さくても道端に休憩できるスペースを提供してもらえらるような制度があれば、みどりの増加と共に歩き易い道路に繋がると思います。

問 1 4

砧地域の地域資源で魅力を感じる場所があれば、理由を添えて教えてください。

<回答>

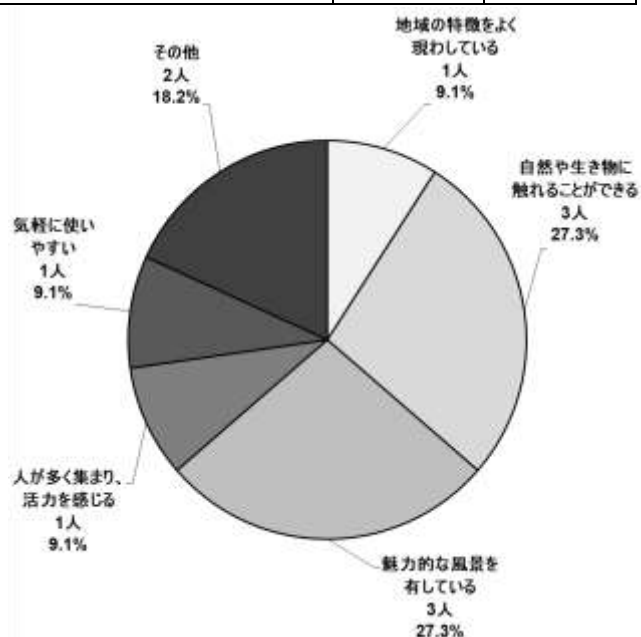
- ・「自然や生き物に触れることができるから」や「魅力的な風景を有しているから」を理由として挙げる回答が3人（27.3%）で最も多くなっています。それらの場所としては野川や国分寺崖線、砧公園や岡本公園などの公園・緑地などが挙がっています。

理由

選択肢	回答数	割合
1 地域の歴史を感じることができるから	—	—
2 地域の特徴をよく現わしているから	1人	9.1%
3 自然や生き物に触れることができるから	3人	27.3%
4 魅力的な風景を有しているから	3人	27.3%
5 普段の生活でよく利用するから	—	—
6 人が多く集まっており、活力を感じるから	1人	9.1%
7 気軽に使いやすい場所だから	1人	9.1%
その他	2人	18.2%

★「その他」の内容

使われることに意味があると思います。多様な人が多様な使い方をしているところに、地域資源としての価値があると思います。
成城等の崖線のみどり、特に野川対岸からの風景は魅力があったのに、虫食い状態で残念です。
歴史・伝統行事は地域住民にとって、緑は多くの生き物にとっても、暑さ対策・温暖化対策としても重要な場所です。



場所（選択した理由ごとに分類）

- 理由：2 地域の特徴をよく現わしているから

祖師谷のけやきロード

- 理由：3 自然や生き物に触れることができるから

野川沿道とふれあい広場

砧公園

丸子川・大蔵の御嶽神社・水神様・大蔵3丁目公園・谷戸川・岡本公園・岡本わきみず緑地・砧公園・祖師谷公園・祖師谷商店街・氷川神社（喜多見）・多摩川・野川・成城ビジターセンター付近の野川・次大夫堀公園・成城4丁目公園など

- 理由：4 魅力的な風景を有しているから

国分寺崖線

成城四丁目緑地

砧公園

- 理由：6 人が多く集まっており、活力を感じるから

祖師谷商店街

- 理由：7 気軽に使いやすい場所だから

砧公園

- 理由：8 その他

場所	理由
喜多見の氷川神社一带（よく待っていただいていると思います、魅力を感じます。）、季節の野草に出会う小径、希望丘公園、千歳船橋駅前広場、ふなばしかどっこ広場	使われることに意味があると思います。多様な人が多様な使い方をしているところに、地域資源としての価値があると思います。 成城等の崖線のみどり、特に野川対岸からの風景は魅力があったのに、虫食い状態で残念です。
氷川神社	歴史・伝統行事は地域住民にとって、緑は多くの生き物にとっても、暑さ対策・温暖化対策としても重要な場所です。

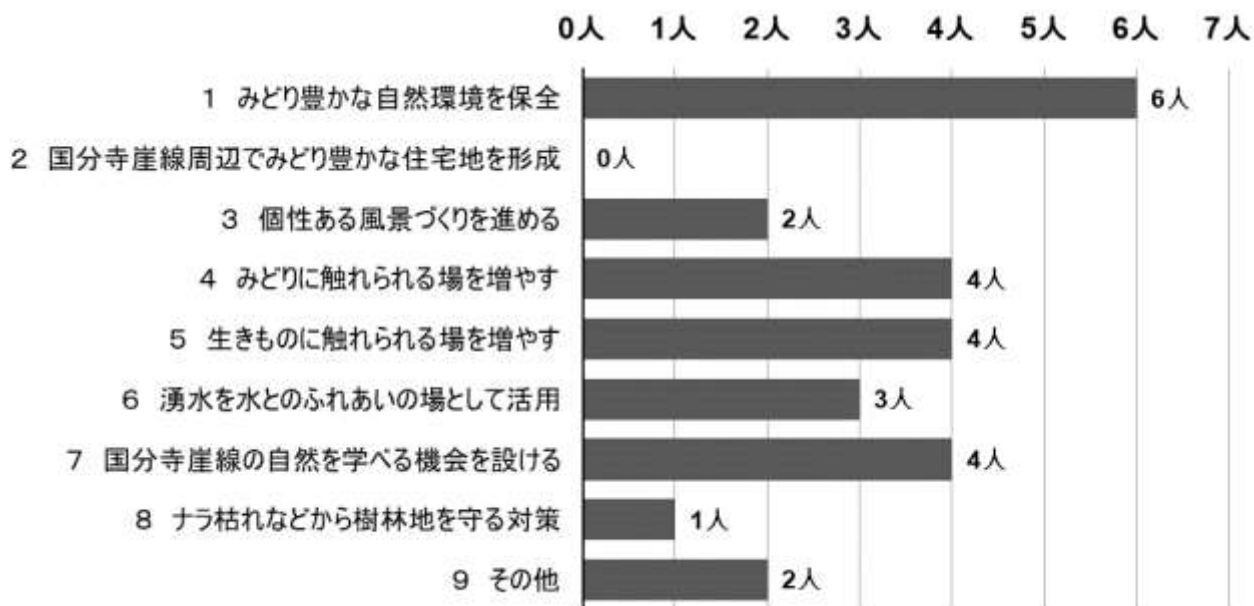
問15

国分寺崖線の魅力を活かすために、積極的に取り組むべきと思うことについて、あてはまるもの2つに○をつけてください。

<回答>

・「みどり豊かな自然環境を保全する」が最も多く、延べ6人（46.2%）となっています。

選択肢	回答数	割合
1 みどり豊かな自然環境を保全する	6人	46.2%
2 国分寺崖線周辺で、みどり豊かでゆとりのある住宅地の形成を図る	—	—
3 個性ある風景づくりを進める	2人	15.4%
4 みどりに触れることのできる場を増やす	4人	30.8%
5 生きものに触れることのできる場を増やす	4人	30.8%
6 湧水を、自然のみずとのふれあいの場として活用する	3人	23.1%
7 地域住民が国分寺崖線の自然について学べる機会を設ける	4人	30.8%
8 ナラ枯れなど病虫害から樹林地を守る対策を図る	1人	7.7%
9 その他	2人	15.4%



★「その他」の内容

場を子どもたちに開放する取り組みの充実。

風致地区条例や都市緑化法等を厳格に運用できるよう基準や要綱等必要な規則等を整備することと、区職員の意識啓発も必要ではないかと思えます。

V 誰もが快適に移動できるまちについて

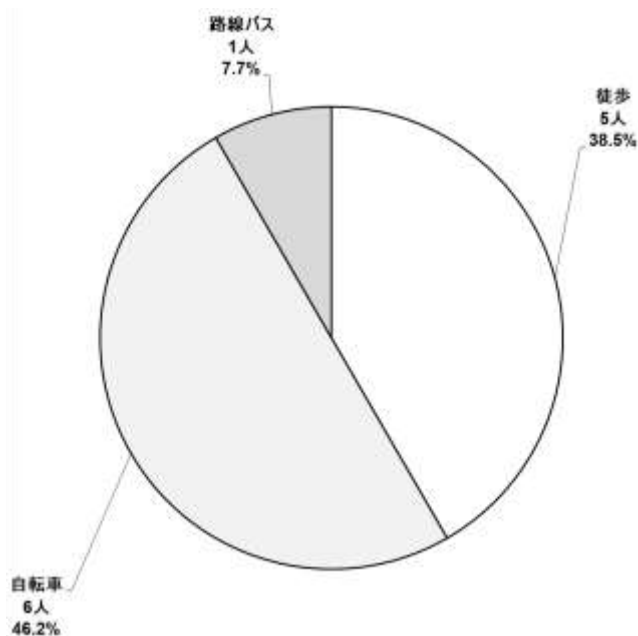
問 16

日常の買い物や駅までの主な移動手段について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

<回答>

- ・「自転車」が最も多く6人(46.2%)、次いで「徒歩」が5人(38.5%)、「路線バス」が1人(7.7%)となっています。

選択肢	回答数	割合
1 徒歩	5人	38.5%
2 自転車	6人	46.2%
3 路線バス	1人	7.7%
4 予約制のバス又はワゴン	—	—
5 タクシーや自家用車での送迎	—	—
6 その他	—	—



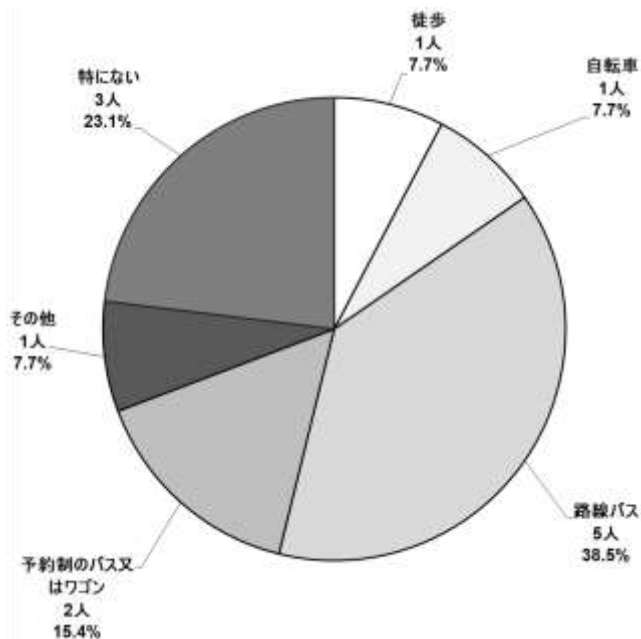
問 17

問16で選択した移動手段の他に、あなたが利用したいと考えるものはありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

<回答>

- ・「路線バス」が最も多く5人(38.5%)、次いで「特にない」が3人(23.1%)、「予約制のバス又はワゴン」が2人(15.4%)などの順となっています。

選択肢	回答数	割合
1 徒歩	1人	7.7%
2 自転車	1人	7.7%
3 路線バス	5人	38.5%
4 予約制のバス又はワゴン	2人	15.4%
5 タクシーや自家用車での送迎	—	—
6 その他	1人	7.7%
7 特にない	3人	23.1%



★「その他」の内容

乗り捨て可能なレンタル自転車

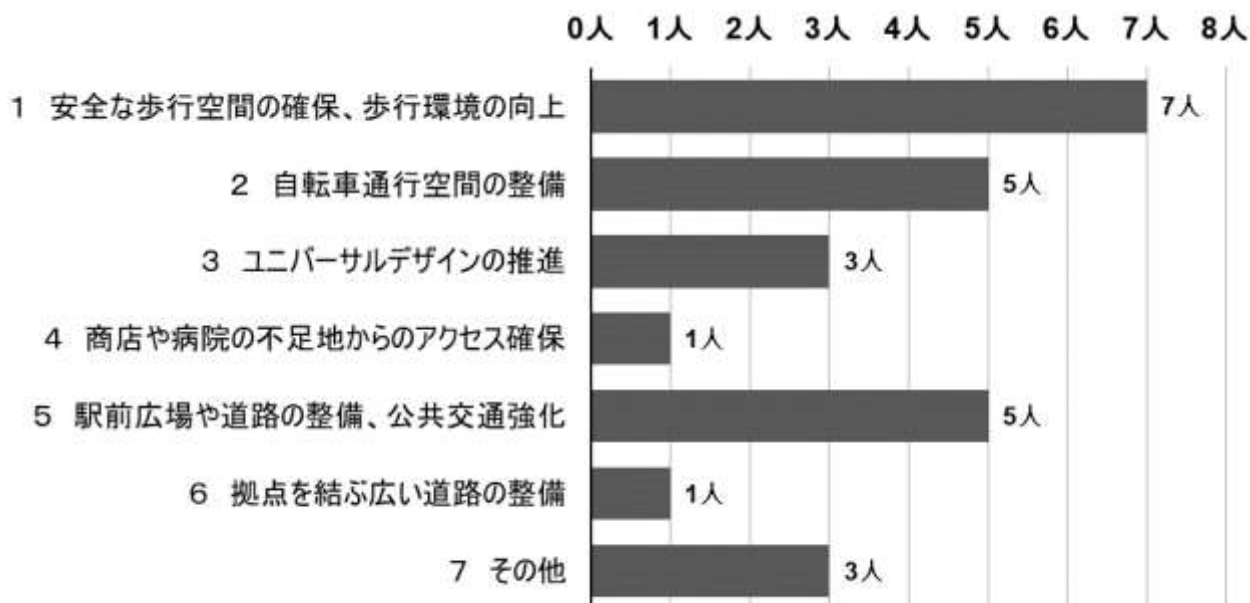
問18

お住まいのまちで、「誰もが快適に移動できるまち」を目指して積極的に取り組むべきと思うことについて、あてはまるもの2つに○をつけてください。

<回答>

- ・「安全な歩行空間を確保し、歩行環境の向上を図る」が延べ7人（53.8%）、「自転車通行空間を整備し、安全な移動や環境負荷の低い交通手段利用を図る」と「駅前広場や道路を整備し、公共交通のネットワークを強化する」がそれぞれ延べ5人（38.5%）などの順となっています。

選択肢	回答数	割合
1 安全な歩行空間を確保し、歩行環境の向上を図る	7人	53.8%
2 自転車通行空間を整備し、安全な移動や環境負荷の低い交通手段利用を図る	5人	38.5%
3 ユニバーサルデザインを推進し、移動環境の向上を図る	3人	23.1%
4 身近なところに商店や病院等がない地域からのアクセスを確保する	1人	7.7%
5 駅前広場や道路を整備し、公共交通のネットワークを強化する	5人	38.5%
6 主要な拠点を結ぶ広い道路を整備し、広域的な道路ネットワークを形成する	1人	7.7%
7 その他	3人	23.1%



★「その他」の内容

たすけあえる、顔が見えるご近所コミュニティの創出の支援。

安全な歩行空間が確保される等歩行者主体の道路整備ができると良いですが、そのためには今ある住宅を削る等の多大な犠牲と多くの自然的環境の破壊を代償として払わなければなりません。道路整備に頼るのではなく、運用と工夫を進め広めていくことが大事だと思います。「ベンチ設置の補助制度（UD生活環境整備補助金）」は良くできた制度だと思いますが、運用が限定的です。予算も倍増程度ではなく、桁違いにして、都市整備や健康スポーツ系統様々な部署共管として、区長室が音頭をとって区民への普及を図る。こうすれば、道端の各所に小さな休憩できるベンチが置かれるようになり、中には小さな広場も併設されたりシンボルツリーが生きていたり、新しい風景ができてくると思います。国土交通省が掲げる2040年道路ビジョンの一コマも可能になって来るのではないかと思います。

交通弱者がもしもの時に困らないような、地域での助け合いの仕組みを充実させる。

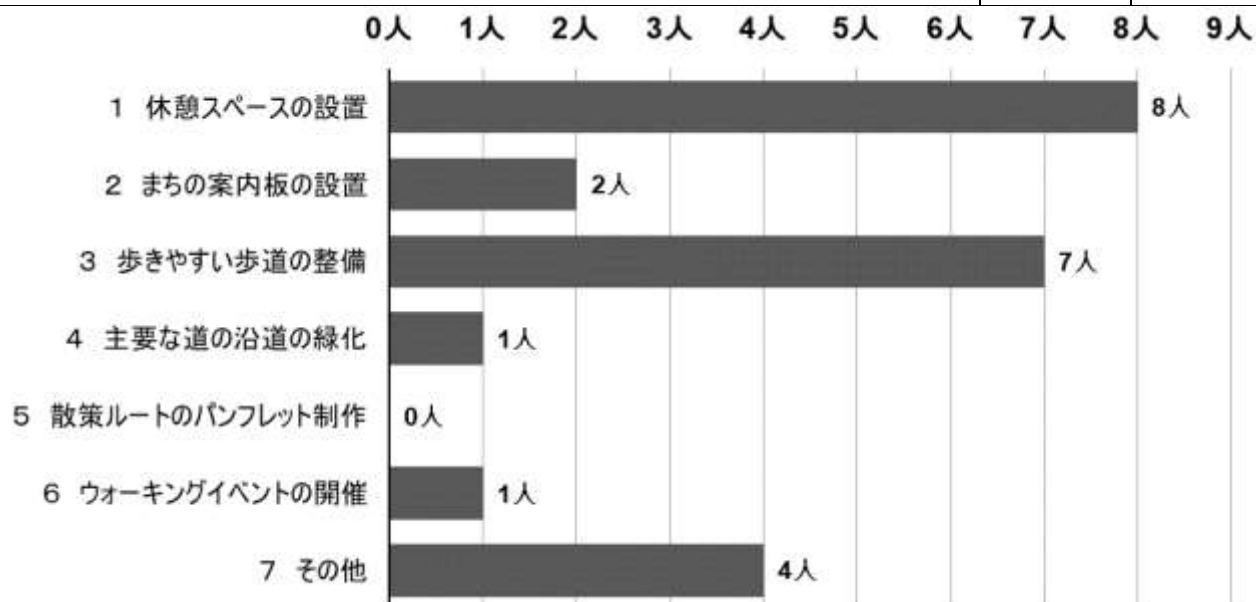
問19

お住まいのまちで、「歩きたくなるようなまち」を目指して積極的に取り組むべきと思うことについて、あてはまるもの2つに○をつけてください。

<回答>

- ・「歩いている途中にひと休みできる休憩スペースの設置を進める」が最も多く延べ8人(61.5%)、次いで「歩きやすい歩道を整備する」が延べ7人(53.8%)などの順となっています。

選択肢	回答数	割合
1 歩いている途中にひと休みできる休憩スペースの設置を進める	8人	61.5%
2 まちの案内板を設置する	2人	15.4%
3 歩きやすい歩道を整備する	7人	53.8%
4 主要な道の沿道で緑化を進める	1人	7.7%
5 散策ルートを示したパンフレットなどを制作する	—	—
6 ウォーキングイベントを開催する	1人	7.7%
7 その他	4人	30.8%



★「その他」の内容

緊急時以外、車両通行禁止道路を整備する。

今、道路は車のためにあるとほとんどの人が思っていると思います。それを人のためにあるのだと多くの人が思うようになると、車はスピードを出せず徐行するようになって、道路は安全になっていくと思います。この意識改革といいますか、パラダイムシフトというか、考え方を変えていくことで安全性は高まると思います。温暖化対策等で生活姿勢の変容が謳われていますが、この道路に対する考え方も同じです。歩くことが増え、車の利用が減れば二酸化炭素排出は抑えられます。休憩所があることで、歩行中に転んだりといった不測の事態も避けられ、危険性は減少します。みどりが増えれば空気が綺麗に、場所によっては樹陰がヒートアイランドにオアシスを提供してくれたり、土があることで虫が増えたり、都市洪水の危険性を低減させてくれたり、様々な恩恵をもたらしてくれるはずです。こうしたことが、歩きやすくなるようなまちの基盤になると思います。

- ・車が進入しないエリア（バルセロナのスペリージャのような）を限定的にでも作り、実施する。
- ・低排出車の普及。
- ・ポर्टランドのように、住民参加で車の速度を落とすための施策（道路にペインティング）や、子どもたちの「道あそび」を支援する。

草花や樹木を愛でながら歩けるように民有地の道路沿いを緑化するように誘導する。

3 砧地域の街づくりについて

問20

区が砧地域のまちな姿（問7をご参照ください）を実現するため、特に力を入れるべきと思う場所があれば、理由を添えてご記入ください。

<回答>

- 千歳船橋駅周辺など特定のエリアについての意見や、みどりの保全などのテーマに関する意見が挙がっています。

● 成城地区

場所	理由
成城学園前駅前広場	理由記載無し

● 喜多見地区

場所	理由
喜多見地区会館	現在では地区会館は避難所として利用できず、発災時には高齢者などの弱者は離れた成城地区まで避難することは不可能であるので、改修・建て替えを望みたい。さらに国分寺崖線・野川や駅前広場にも近いので、地域資源に係る情報発信や誰もがコミュニケーションを取れる場の提供が可能だと感じるため。
喜多見	まだ比較的自然が残っています。ぜひ残してほしいです。
民有地の緑	素敵だなと思っていた場所が相続等で失われることが多いです。 例：喜多見3丁目、4丁目、6丁目、7丁目

● 船橋地区

場所	理由
船橋	幹線道路に近く大型スーパーマーケットがあり学校、施設、公園が近隣にあります。 経堂、千歳船橋、八幡山駅から徒歩20分程ですが多くの人々が避難できる場所かなと思いました。
千歳船橋駅周辺	魅力的な商店街はあるが、規模が小さい点や土地の利活用がうまくいっていないと感じる部分があること。 違法駐輪が解消されないこと。

● 安全で災害に強いまち

場所	理由
大きな地域資源より、点在する各公園	防災時は徒歩5分の生活圏内が重要なエリアとなると考える。防災拠点、また交流拠点としての公園の価値を再認識して維持管理・増設の投資をすべきである。その際は発言しやすいものだけでなく、子どもやマイノリティなどの声の小さい対象の声もまんべんなく集めて議論していく必要がある。

● みどり豊かで住みやすいまち

場所	理由
国分寺崖線	地域の中での生業としての林業がなくなってしまったので（農地の減少、開発に伴い）「まちづくり」「公共のインフラ」として、行政主導で整備していく必要があるのではないかと。安価な保全方法ではなく、本来の国分寺崖線のありようなどをふりかえり、樹々の保全と更新し、できる限りの国分寺崖線のみどりの復活を考えてほしい。

● 誰もが快適に移動できるまち

場所	理由
野川沿い	自転車でも南北の移動を考えたとき、環八通り以外は移動しづらい。野川沿いなど成城の南北に移動しやすい自転車道の整備をお願いしたい。
全区道路際	身近な場所に、ちょっと休める空間があるだけで、どれだけの人が道路を『歩きやすい』と思うでしょう？高齢者に限ったことではありません。赤ちゃんを抱っこしていたり幼子の手を引いて歩いたり、大きな荷物抱えていたり、様々な場面が想定されます。ただ、そういったことをあまり求めないのは、道路は車が通るのが優先だし、休憩なんてできるとはゆめゆめ思っていない人が多いからだと思います。

問 2 1

砧地域の街づくりについて、ご意見などありましたらご記入ください。

<回答>

- ・みどりの保全や、街づくりについての意見の集め方などについての意見が挙がっています。

● 祖師谷地区

祖師谷3丁目周辺には公園が少なく、あったとしても小規模。祖師谷公園も砧公園も遠い。気軽に子供が遊びに行ける中規模以上の公園が無い。廃墟となった住宅も増えている中で、もっと公園や地域交流の場を増やしてほしい。祖師ヶ谷大蔵駅周辺の区の施設もみんな古い。

● 船橋地区

千歳船橋駅周辺地区地区街づくり計画を遵守して、通過交通を入れないみちづくりを進めるため、都市計画道路補助52号線の優先整備路線を解除するよう、東京都へ求めましょう。

● 喜多見地区

喜多見地区は自治が活発な狛江市と成城地区に挟まれて、双方の充実した機能に依存できるように見えながら、やはり喜多見駅前周辺を中心に生活を営む生活者の増加を考えると、地域に密着した各種機能の充実と生活者の意識改善が必要だと考えるので、きっかけづくりが大切だとも感じる。

● みどり豊かで住みやすいまち

今住んでいるところは近隣に公園もあり大きな街路樹もあり四季を感じることが出来ます。

自然を減らさず残す取り組みがあれば嬉しいです。

緑や公園が多く、子育てしやすい環境である点が気に入っています。

今後も緑の保全や公園の維持管理を引き続き行っていただきたいです。

自然と調和する街づくりを考えてくれていてありがたいと思います。

せめて今ある緑が減らないようにしてほしい。

とにかくみどりを減らさないことを制度的に考えてください。そして、増やすためのことを考えてください。みどり33を諦めないでください。

● その他

大人以外に、子どもたちから意見を募ることは考えていないでしょうか？まちづくりに子どもの声を反映することは、国で方向性が示されると認識しています。ご検討ください。

まちづくりセンターごとに地域の意見を集めたり、地域のことの情報発信する機能を持たせる必要があると思います。

4 世田谷区全体の街づくりについて

問 2 2

世田谷区全体の街づくりについて、ご意見などありましたらご記入ください。

<回答>

・みどりの保全や交通利便性などについての意見が挙がっています。

● みどり豊かで住みやすいまち

みどり33を諦めないで、今からでもできる策を打ち出してください。その実現のため、職員総出で、街中に訴えてください。

道路行政の転換を。車のためではなく、人のため、との考え方の転換です。また、4m→6mに拡幅すると、消防車は通れるかも知れませんが、車が増えて歩行者住民の危険性は増します。

建築物の高層化は、緑地を増やすメリットがある一方で、街並みが崩れる、人口の急増と年齢構成の偏り、のちの権利関係が難しいなど、デメリットも多く、世田谷区には合わないと思います。

● 誰もが快適に移動できるまち

廃墟が多い。また、住宅街は特に道が狭くて見通しが悪く、子供にとっては危険。

個性ある街が点在している点が気に入っていますが、交通の点で不便に感じる場合があります。

例えば世田谷線の乗り換え駅である下高井戸駅や豪徳寺駅に特急や急行が止まらない点など。

交通機関と連携をしてより住みやすいまちを実現していただきたいです。

● その他

東京都の中でも意識水準が高い生活者が多く住んでいるのでその力を背景に、世界に先駆けた福祉・子育てなどの好ましいモデルとなるスタイルを早め実現して欲しい。

ボトムアップでいきましょう！

大人以外に、子どもたちから意見を募ることは考えていないでしょうか？まちづくりに子どもの声を反映することは、国で方向性が示されたと認識しています。ご検討ください。

駅方面に行かないと病院が無いなんてことがないような街づくりをしてほしいです。

5 区民主体の身近な街づくりについて

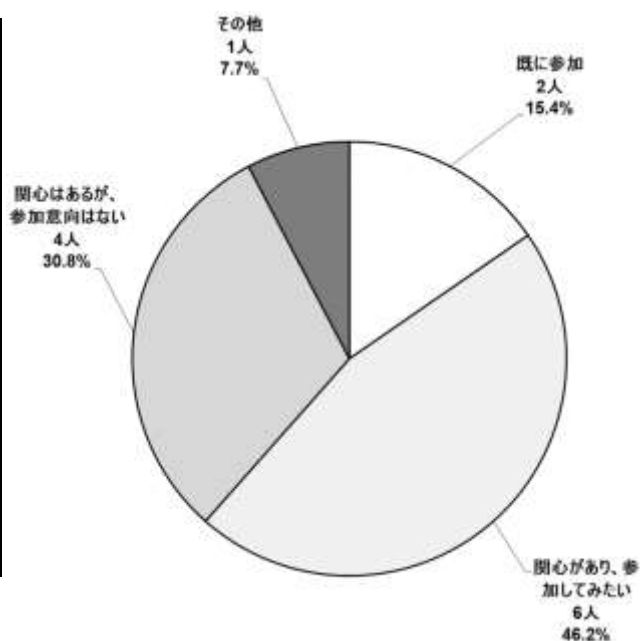
問 2 3

街づくりを推進するためには、区民・事業者と区が協働して進めることが大切ですが、こうした街づくりへの関心や、街づくり活動への参加意向について、あてはまるものに○をつけてください。差し支えない範囲で1については〔参加した活動名〕、3については〔理由〕をご記入ください。

<回答>

- ・「街づくりへの関心はあり、活動に参加してみたい」が最も多く6人（46.2%）であり、次いで「街づくりへの関心はあるが、活動に参加する意向はない」が4人（30.8%）、「既に参加している」が2人（15.4%）などの順になっています。
- ・「既に参加している」と回答した方の活動は、「NPO法人」や「喜多見ポンポコ会議」などでした。

選択肢	回答数	割合
1 既に参加している	2人	15.4%
2 街づくりへの関心はあり、活動に参加してみたい	6人	46.2%
3 街づくりへの関心はあるが、活動に参加する意向はない	4人	30.8%
4 街づくりへの関心はないが、情報は欲しい	—	—
5 街づくりへの関心はない	—	—
6 その他	1人	7.7%



★「その他」の内容

何をもって参加している状態なのかわからない。色々事業には関わらせているが、それがまちづくりなのかわからない。

街づくり活動の内容 (選択肢1を選んだ場合に回答)

NPO 法人せたがや水辺デザインネットワーク

喜多見ポンポコ会議